



「自分を成長させるための振り返りと対話の大切さ」

校 長 松山 浩行

この1学期を振り返ると生徒たちは、日々の授業に取り組む姿勢や委員会活動、係活動など自分の役割に責任を果たす姿が多くみられました。また、運動会でのクラスや学年のまとめ、学校生活の中でお互いを励まし合い、認め合う姿など生徒たちが意欲的に活動をしている瞬間を幾度となく見ることができました。生徒たちは様々な場面での経験や体験を通して成長したのではないのでしょうか。

人はいくつかの節目で自分を振り返り、今までの取り組みがどうだったのかをしっかりと考える時間が幾度となくあるかと思います。今回は、振り返ることの意義を少し考えてみましょう。生徒の皆さんは、学習では期末考査が終わり、採点された答案が返ってくるとその結果に一喜一憂します。運動部では、大会での勝敗やその時々の自分のプレー、文化部では、コンクールや発表会での演奏や演技の善し悪しでいろいろと考えることが多いものです。そのような時に自分がその時までに取り組んだことをしっかりと振り返ることが大切なのではないかと思います。「どのようなやり方で取り組んだか、どのような結果が出たのか、良い結果なら何が良かったのか、逆ならどうすればよかったのか、これからどうしていくか」これが取組を振り返るプロセスです。一般に組織での改善方法として使われているP（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルというものです。ここで大切なのは、自分がやってきたことに正面から向き合うことです。結果のすべてを自分自身で受け入れる覚悟が必要です。自分の行なった行為に責任をもち、より良い自分へと成長するための手立てを考え、あらためて実行していくことが大切です。人が行動するには、行動しようとする意志が必要です。行動の目的や方法を決めるのは自分の意志で、その意思をどこに向け、何を考えて取り組むかで、生じる結果に大きな違いがあることをしっかり理解することで、次のステップに向けての改善につながります。ただ、自分一人ではなかなか解決できないこともあるかと思います。そういう時は、親や友達、先生など対話をして自分の考えを丁寧に伝えることが必要です。対話をした相手から自分が意図した回答が返ってくるかはわかりませんが、他の人の意見を聞き、自分の考えを膨らますことも自分が成長していくために必要なことです。SNSなどの文章でのやり取りではなく、対話をしてお互いを認め合うことで自分が成長していくことを経験して欲しいと思います。また、学校がそのような心を育む場所であるように取り組んでいきたいとあらためて思います。

結びになりますが、一学期間、保護者や地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご支援に感謝申し上げますとともに、暑さ厳しき折、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

今後の行事予定

7月22日～31日 三者面談期間

8月20日～22日 2年生林間学校

9月1日 2学期始業式 安全指導

2日 給食始

4日 専門委員会・中央委員会

8日 生徒会朝会・学校公開週間（始）

鹿本学園交流授業（3年）5校時

11日 新入生説明会

12日 演説会・生徒会役員選挙

13日 土曜授業日 学校公開週間終 引取訓練

☆6月25日（水）～27日（金） 5組1・2年生「宿泊学習」

出発時は、大雨で3日間どうなることかと思いましたが、初日現地の見学場所オラッチェに到着すると雨が上がっていて、予定通りの見学行程を行うことができました。翌日は、濃霧で鹿本中グループは前半に海賊船、後半に森のふれあい館・箱根園のコースだったので海賊船に予定通り乗船することができました。後半で海賊船の予定だった学校は、濃霧のため欠航となってしまう乗船できず、雨天時の予定だった水族館の見学になりました。夜のキャンドルサービスも予定通り実施でき、生徒たちはフォークダンスで楽しく交流することができました。3日目は、朝から天気も良く生命の星・地球博物館を見学後、鈴廣かまぼこの里でお土産購入と博物館の見学をして、豪華な昼食をとり、バスで帰校しました。多少、乗り物酔いで気分を悪くした生徒もいましたが、3日間、大きな事故・ケガもなく全員元気で過ごせました。生徒たちは、宿舎での過ごし方や行動班での活動等、とても立派に行動することができました。この経験を学校生活でもいかして、成長してくれることを期待しています。